

たんぽぽだより



2020年 6月号

日差しが心地良い季節になりましたね。コロナウイルス感染症対策で、公園の遊具はずっと使えない状態ですが、子ども達はお散歩や外遊びを楽しんでいます。

人とのつながりやふれあいなど沢山の事が問われている現在、SNS上の心無い書き込みによって尊い命を自ら断ってしまったり、感染の恐怖から大切なお仕事をしている人に対する偏見が生まれたり、人としての思いやりが問われていますね。

6月 これまで長崎県では『いのちを考える月』です。

私たちは、なぜ生まれてきたのでしょうか？

出生前の記憶を持って生まれてきた子の話を追ったドキュメンタリー映画「神さまのやくそく」によれば、「なぜ生まれてきたの？」という問いに対し「お母さんのため」に生まれてきた、「人の役に立つために生まれてきた」という子が多いのです。最近では、それに加えて楽しむために生まれてきたという子も多いそうです。

一人一人は違う個性ですから、楽しい事もそれぞれ、「これ私は苦手だけど、あなたは得意よね」逆に「これ私は好きだけど、あなたは嫌いね」という事が有りますよね。

日本人は、みんなと同じということをとても意識する民族です。それが良い場合もあります。しかしこれが「みんなと同じでなければ」という偏った考え方になると偏見や差別になってきます。

一人として同じ人間はいません。違うのが当たり前です。それが前提であれば、違うことに対して抵抗感はないと思います。得意な事や好きなことを活かして、個性豊かな子どもたちがこれからは沢山出てくるのではないかと思います。

一番新しい保育所保育指針では特に、0・1・2歳児の項目に《ひとりひとり》という言葉が沢山出てきます。それだけ個性を大事にする事に注目が集まっているという事ですね。

お知らせとお願い

- ・午前中の活動の充実のために、午前中のおやつ時間が早くなります。おやつを9：15から食べます。それに伴い朝の片付け時間も早くなります。お仕事の都合もあると思いますが、朝の登園時間は9時までにお願ひします。
- ・園で食事用のエプロンを準備することにいたしました。今後はご家庭で準備は必要ありません。
- ・これから暑くなってきます。着替えを多めにお願ひします。また下着を着たほうが汗を吸い体温調節がしやすいので、熱中症予防のために下着も入れてください。マスクは熱中症と窒息の危険が有るそうです。
- ・すべてのものに必ず記名をしてください。記名のないものは、こちらで記名させていただきます場合もあります。

たんぽぽ

今月の目標：すべての命にありがとう。梅雨を楽しむ。

つぼみ組【0歳児】：園生活に慣れ保育者に見守られながら安心して過ごしふれあいを楽しむ。

もも組【1歳児】：衣服の着脱を自らしようとする。梅雨時期の自然に興味を持ち、触れてみようとする。保育者や友だちとの関りを喜び、じっくりと遊ぶ。

ゆり組【2歳児】：梅雨期ならではの自然に親しみ、雨の様子や動植物に興味や関心をもつ。簡単な身のまわりのことを保育者に見守られながら自分でやってみようとする。保育者や友だちと一緒に体を十分に動かす事を楽しむ。

6月の保育内容

養護

つぼみ組：梅雨期の湿度に対しての除湿、室温の調整を心掛け、快適に過ごせるようにする。表情やしぐさなど自己表出を十分に受けとめ、同じ動作を共有して応答する。歯科検診を行い、歯の生え具合や口腔内の健康状態を把握する

もも組：衛生的な環境の中で、元気に過ごす。オムツへの排泄の不快感を伝える。一人一人の子どもが安心して自分の思いを出していけるように、その都度子どもの思いを受け止め、共感していく。梅雨の自然に興味を持ち、水溜まりを見たり触れたする。

ゆり組：梅雨に入り、体調が崩れやすくなるので、一人一人の体調の変化に気をつけて、活動内容のバランスをとるようにする。一人一人の思いをしっかりと受け止め、安心感をもって生活ができるようにする。

教育

つぼみ組：歯ブラシを使って歯みがきの習慣をつける。

しっかり咀嚼して食べれるように保育者が口を動かして見せたり声をかけ、口の動きを促す。欲求を保育者に受け止めてもらい、安心感を持って関わろうとする。歌や手遊びに興味をもち、体を揺らしたり手の動きを真似ようとする。保育者が見守る中でつかまり立ちやハイハイを意欲的に行えるようにする。戸外活動を取り入れ、雨の日も抱っこして雨音を感じてみる。

もも組：食材の名前を繰り返し聞き、様々な食べ物に興味を持つ。保育者と一緒に着脱など身の回りのことを自分でしてみようとする。好きな玩具や遊びを見つけ繰り返し遊ぶ。友だちがしていることに興味をもち、同じことをして喜ぶ。思っていること、感じたことを動作や言葉で伝える。戸外では虫や草花、砂などの自然物に触れて遊んだり、園庭内の固定遊具を楽しむ。リズム遊びや触れ合い遊びでは、曲に合わせて身体を動かす楽しさを味わう。

ゆり組：苦手なものを少しずつ食べようとして、完食できたことに喜びを感じる。畑の野菜やお花の成長・収穫を喜ぶ。正しい手の洗い方・食後の口拭きなど、清潔にする習慣が身に付く。登園後の荷物の支度や簡単な衣服の着脱など出来ることを自分でしようとする。好きな遊びを通して保育者や友だちとの関わりを深める。絵本や紙芝居などのお話の内容を理解し、おもしろさを感じる。保育者の話や絵本、雨上がりの散歩などを通して梅雨ならではの自然を感じる。水、砂、泥の感触を楽しむ。マットやフープを使って全身運動をおこなったり、リズム遊びや体操をして雨の日も楽しく遊ぶ。ひも通しや粘土・ハサミを使った製作など、指先を使う遊びを十分に楽しむ。